

衣料管理士(Textiles Advisor)とは

一般社団法人 日本衣料管理協会
理事 大谷 芳 男

衣料管理士制度の誕生

企業と消費者の間のパイプ役を果たす専門家を女子大学・短期大学の家政学部被服学科で養成しようとの意図で衣料管理士制度が考案され、昭和46年12月6日に衣料管理士制度の推進を図る日本衣料管理協会(以下「協会」)が創設されました。当時、米国のHEIB(Home Economist in Business)が企業内家政学士として女性の視点を生かして活躍していました。協会は米国のHEIBを調査することになり、大学教員30名で米国調査団を組み、HEIBとの面会・懇談、HEIB養成にあたるカリフォルニア州立大学ロングビーチ校やHEIB協議会事務局などを訪問・視察しました。企業内で取締役として活躍しているHEIBと懇談し、消費者の視点を忘れないで仕事をしていることに感銘を受けました。また、大学家政学部でのHEIB養成カリキュラムについても情報収集しました。帰国後、先進国においても衣料管理士と同じ考え方のHEIBがあることを知って勇気づけられ、視察の成果を衣料管理士制度の検討に役立てました。協会は、企業と消費者の間のパイプ役を果たす米国のHEIBと同じ目的を持たせ、米国HEIBの日本版・衣料版として衣料管理士資格の内容や資格要件を固めました。当時、衣料管理士の英語表記を Home Economist in Clothing Consumer Affairs としました。

衣料管理士は大学教育で養成するものなので、協会は、まず衣料管理士認定に必要なカリキュラム、必置の専任教員、実験室やそこで使用する機械器具などを検討し、衣料管理士養成大学が備えるべき基準を明らかにしました。衣料管理士の養成をしたい大学・短期大学は、協会が定める基準どおりの教育条件を整えて、協会の審査を受け、審査に合格した大学・短期大学が衣料管理士の養成教育を始めることができるようにしました。昭和47年度には、13大学が衣料管理士養成大学として認定されて、昭和48年3月に第1期衣料管理士として、1級衣料管理士59名、2級衣料管理士404名が認定されました。

このように衣料管理士資格は、養成カリキュラム等につき本協会の審査・認定を受けた大学・短期大学で、協会の定めた養成カリキュラムを履修した学生に、資格認定証が与えられるもので、いわば大学と協会が連携して推進を図る資格制度といえます。

衣料管理士養成カリキュラム

衣料管理士養成カリキュラムは米国HEIBの日本版・衣料版を目標とすることから、繊維素材、材料、染色、加工、アパレル企画・設計・生産・生理衛生、品質管理、流通、消費、消費者問題、企業でのインターンシップといった分野で構成されています。

資格は1級と2級に分かれ、現在、1級は四年制大学で43単位以上、2級は短期大学で28単位以上の単位の履修が必要となっています。

1級衣料管理士養成大学は、次の24単位の必修科目を開講し、これに加えて下記選択科目より19～29単位の科目を開講し、必修・選択を併せて43単位～53単位の幅で開講することができます。大学ごとに特徴が出せるよう配慮しています。

2級衣料管理士養成は同じ分野の勉強をするのですが深さが違います。1級の43単位以上に対して2級は28単位以上の関係単位の履修が必要となります。

1級衣料管理士養成カリキュラム

必修科目 (A)

必修 (A)	
グループ	科目
材 料	<ul style="list-style-type: none"> ・被服繊維学 (講2) ・被服材料学 (講2) ・繊維学実験 I (実1) ・材料学実験 I (実1)
	小計 6単位
加工・整理	<ul style="list-style-type: none"> ・被服整理学 (講2) ・染色加工学 (講2) ・被服整理学実験 (実1)
	小計 5単位
企画・設計・ 生産	<ul style="list-style-type: none"> ・アパレル企画論 (講2) ・アパレル設計論 (講2) ・アパレル設計実習 (習1) ・アパレル生産実習 (習1) ・アパレル生理衛生論 (講2)
	小計 8単位
流通・消費	<ul style="list-style-type: none"> ・消費科学 (講2) ・消費生活論 (講2) ・テキスタイルアドバイザー実習 (習1)
	小計 5単位
	合 計 24単位

注) 講=講義、実=実験、習=実習 を指します。

選択科目 (B)

選 択 (B)	
繊維学実験 II (実1)	アパレルデザイン表現実習 (習1)
材料学実験 II (実1)	アパレルCAD実習 (習1)
繊維製品試験法 (講2)	色彩学 (講2)

機器測定法（講2）	色彩実習（習1）
高分子化学（講2）	アパレルグラフィック実習（習1）
機能材料学（講2）	インテリアコーディネート概論（講2）
テキスタイル基礎科学（講2）	アパレル生理衛生実験（実1）
品質管理（講2）	機能アパレル論（講2）
統計学（講2）	ファッションビジネス論（講2）
インテリア繊維製品（講2）	生活行動論（講2）
テキスタイルデザイン（習1）	マーケティング論（講2）
染色加工学実験（実1）	ファッション販売論（講2）
繊維加工学（講2）	ファッションリテール実習（習1）
工芸染色実習（習1）	ファッション商品論（講2）
衣料用洗剤試験法（実1）	消費者調査法（演1）
染色堅ろう度試験法（実1）	衣生活文化論（講2）
繊維加工学実験（実1）	消費者経済学（講2）
繊維製品の取扱いに関する試験法（実1）	被服心理学（講2）
アパレル生産論（講2）	ケーススタディ（習1）
アパレルデザイン論（講2）	ファッションビジネスの世界（講2）
アパレル企画実習（習1）	
19単位～29単位を選択	

＝協会が開講を推奨する科目

衣料管理士養成大学

協会の審査に合格して衣料管理士養成大学として認定された大学・短期大学は以下のとおりです。

1級衣料管理士を養成する大学

日本女子大学 被服学科 東京都文京区

武庫川女子大学 生活環境学科(1級・2級養成) 兵庫県西宮市

実践女子大学 生活環境学科 東京都日野市

東京家政大学 服飾美術学科(1級・2級養成) 東京都板橋区

椙山女学園大学 生活環境デザイン学科 愛知県名古屋市

昭和女子大学 環境デザイン学科 東京都世田谷区

大妻女子大学 被服学科 東京都千代田区

文化学園大学 ファッションクリエイション学科 東京都渋谷区
東京家政学院大学 生活デザイン学科 東京都町田市
共立女子大学 被服学科 東京都千代田区
大阪樟蔭女子大学 被服学科(1級・2級養成) 大阪府東大阪市
名古屋学芸大学 ファッション造形学科(1級・2級養成) 愛知県日進市
京都女子大学 生活造形学科 京都府京都市
和洋女子大学 服飾造形学類 千葉県市川市
聖徳大学短期大学部 服飾文化専攻 千葉県松戸市

2級衣料管理士を養成する大学

新潟青陵大学短期大学部 人間総合学科 新潟県新潟市
武庫川女子大学短期大学部 生活造形学科 兵庫県西宮市
聖徳大学短期大学部 総合文化学科 千葉県松戸市
大阪成蹊短期大学 総合生活学科 大阪府大阪市
岐阜市立女子短期大学 生活デザイン学科 岐阜県岐阜市
神戸松蔭女子学院大学 生活学科 兵庫県神戸市
九州女子大学 人間生活学科 福岡県北九州市
金城学院大学 環境デザイン学科 愛知県名古屋市
名古屋女子大学 生活環境学科 愛知県名古屋市
昭和学院短期大学 人間生活学科 千葉県市川市
鎌倉女子大学 家政保健学科 神奈川県鎌倉市
東北生活文化大学 家政学科 宮城県仙台市
大阪産業大学 経営学科 大阪府大東市
岐阜女子大学 生活科学科 岐阜県岐阜市

衣料管理士の活躍

昭和48年3月に衣料管理士の認定が始まって以来、現在、約5万1千人を超える衣料管理士資格者が、社会のいろいろな分野で活躍しています。

衣料管理士は、企業と消費者の間のパイプ役を果たす専門家ですが、ファッション業界での衣料管理士の活躍の事例を下記に紹介します。衣料管理士は、最新ファッションのアパレルからインテリア用品、雑貨まで、私たちの生活を豊かに彩る繊維製品の、企画・設計／販売／品質保証／消費者対応について、豊富な知識と技術、知恵と工夫を活かして、人々に貢献しています。

企画・設計

情報を集め、分析し、企画・デザインコンセプトを決める。一つのアパレル製品ができあがるまでの過程で、一番初めに行われるのが企画です。企画は、情報収集・分析→商品企画のコンセプトの立案とデザインの決定→素材選び→設計(製作)という流れで行われます。

情報収集・分析は、消費者情報、マーケット情報、新しく開発された素材の特徴などの情報が収集され分析されます。商品企画のコンセプトは、このような情報分析に基づいて決定されます。

素材選びは、衣料管理士ならではの豊富な知識をフル活用。機能性や手入れのしやすさから、ボタン、芯地などの副資材選びまで、ファッションブルで優れたアパレル製品を完成させるために必要なことを決め、こまやかな気配りをしながら商品設計を進めます。

販売

ファッション業界における衣料管理士の仕事の中で、最も期待されているのが「販売」業務です。接客・販売では、商品の特徴、取扱上の注意点など専門知識を生かして消費者にアドバイスし、安心して商品を購入してもらえよう努めます。そして販売の現場で得られた消費者の声をメーカーに伝えることも大切な役割です。

これからは、ヤングファッションばかりでなく、大人市場のファッションもマーケティングの中心になるので、企業は磨き抜かれたセンスを持つ大人の消費者を相手に販売を行うことが多くなります。そのため、衣料品の素材・取扱・保管・洗濯など専門知識を持って消費者に対応する衣料管理士の活躍に注目があつまります。

品質保証

美しく品質の良い製品を保証し消費者の信頼を確保する。洗濯・保管を繰り返し行う衣料品は、色落ち、縮みなどの問題が生じることがあります。この部門の衣料管理士は、品質について消費者から苦情がでないような品質基準を作り、その基準にしたがって事故防止の事前のチェックをします。ひとたび消費者からクレームがあったときは、衣料管理士は苦情の原因を明らかにして、その結果から得た再発防止策を企画へフィードバックする(反映して生かす)重要な役割を果たします。

消費者対応

CSRの進んだ社会では消費者からの要望に誠意を尽くして対応しなくてはなりません。消費者と直接応対する部門の相談室は、衣料管理士の活躍の場になっています。

企業では消費者の声を聞くため「お客様相談室」を設けて、クリーニングトラブルとか、色が落ちる、形が崩れるなど、品質に関する苦情を受け付けたり、衣料品を使用している間に起こった問題点を聞き、これらの消費者の声を製品の改良や開発に生かしています。

その他の活躍

繊維業界のほかに行政機関や検査機関などでの活躍も見られます。

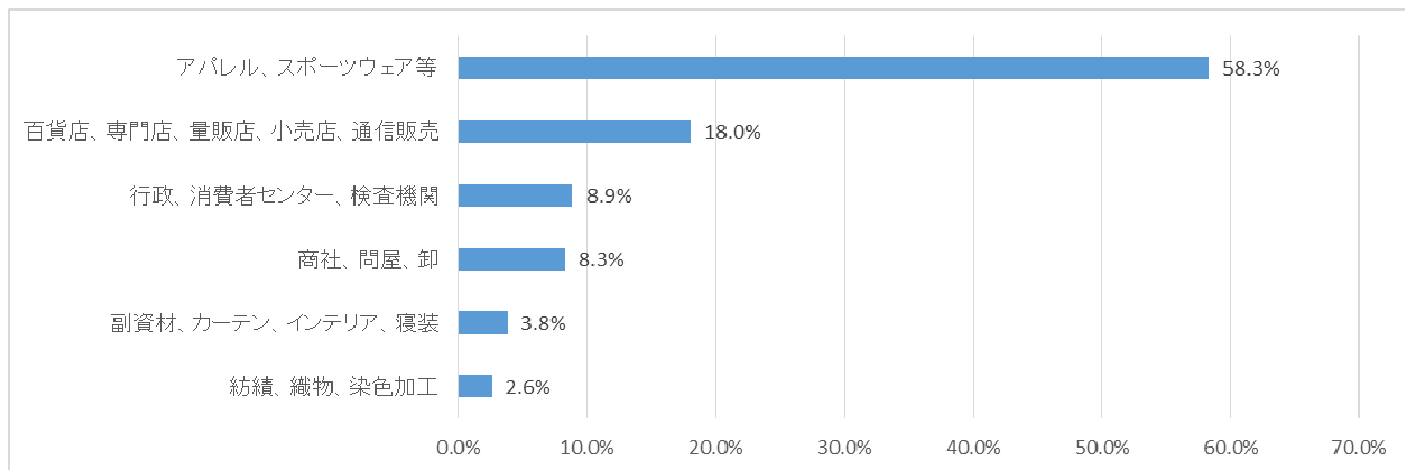
国民生活センターや都道府県の消費者センターでは消費者相談・商品テスト・消費者教育・消費者向け情報普及などの業務で活躍しています。

繊維関係の検査機関では、生地の前検査、消費者苦情の原因究明、再発防止策の検討、製品検査などの業務で活躍しています。

協会は上記のような衣料管理士の活躍の状況をDVD『ファッションビジネスと衣料管理士』にまとめています。協会のHP (<http://www.jasta1.or.jp>) のトップで見ることができます。

衣料管理士の就職先分野

協会では、毎年、5月に衣料管理士養成大学を卒業した学生の就職状況調査を行います。平成27年3月に卒業した812名の衣料管理士資格者の60.8%が資格の生きる企業等に就職し、その業種別分類は次の通りです。



衣料管理士の主な就職先企業

衣料管理士が活躍している企業を下記に紹介します。大手のアパレルでは「衣料管理士求む」と衣料管理士資格者を求人する企業も出てまいりました。

百貨店	三越伊勢丹ホールディングス、そごう、西武、阪急阪神百貨店 京王百貨店
専門店	AOKIホールディングス、ユニクロ、ユナイテッドアローズ
通信販売	アポロTC、メルルハースト
アパレル	オンワード樫山、三陽商会、西川産業、ミズノ、ワコール、イトキン
素材産業	丸井織物、シキボウ、川田ニット、瀧本
染色加工	小松精練
クリーニング	白洋舎
検査機関	カケンテストセンター、日本繊維製品品質技術センター、 ボーケン品質評価機構
行政	国民生活センター、消費者センター、都道府県の繊維工業試験場

繊維製品品質管理士（TES）資格との結びつき

衣料管理士が生まれて10年がたち、昭和56年度には通商産業大臣（現経済産業大臣）認定繊維製品品質管理士（Textiles Evaluation Specialist=TES）が誕生しました。

繊維製品の品質・性能に関する消費者苦情の発生を未然に防止するスペシャリストで、その狙いは企業活動の合理化、消費者利益の保護、企業・消費者間の信頼関係の改善にあります。

TES資格認定試験も協会が行っているのですが、昭和 57 年度からの試験で、すでに 7, 194 名のTES資格者が誕生し、繊維業界のさまざまな企業で活躍しています。詳細は協会HP (<http://www.jasta1.or.jp>) の『業界に浸透するTES』をご覧ください。

協会の行う次の5科目の試験に合格するとTES資格が取得できます。

- ① 繊維に関する一般知識
- ② 家庭用繊維製品の製造と品質に関する知識
- ③ 家庭用繊維製品の流通、消費と消費者問題に関する知識
- ④ 事例
- ⑤ 論文

5科目のうち「繊維に関する一般知識」には試験免除の制度があつて、衣料管理士資格者は試験合格と同じ扱いをうけます。衣料管理士は「繊維・糸・布地の種類と性質、染色・加工」につき大学で学び部分的に単位を取っているからです。「繊維に関する一般知識」以外の科目についても、衣料管理士を取るために学んだことがTES試験で問われる内容に近いので衣料管理士には有利です。このように衣料管理士は、繊維業界の有力資格であるTES資格と制度的、実態的に結びついています。

衣料管理士を取得するために大学で学びながらTES試験に挑戦し、卒業時に衣料管理士と繊維製品品質管理士の 2 つの資格を持って社会に出る学生もいます。繊維業界の企業では、2つの資格を持っていると、人材採用時の面接試験等で高い評価をうけることができます。

将来性豊かな衣料管理士

衣料管理士は、消費者ニーズが多様化する中で、ますます高度な機能と品質、個性的なファッション性が求められているアパレルなど繊維業界から、大きな期待が寄せられています。

消費者の視点が重視される社会になって、アパレル産業や繊維産業においても消費者の立場に立った企業政策が重要になってまいりました。企業と消費者の間の意思疎通を円滑にする衣料管理士の役割が注目されています。